

かしこくカーライフを楽しむためのコミュニケーションペーパー

# Keeper Fan!!

## Special Interview

### 伊藤秀介さんが語るクルマと夢

## ロンドン五輪まもなく開幕!

## 競泳選手の頑張りを多くの人に見てほしいですね。

来たるロンドン五輪で「金を含むメダル8個以上」を目標に掲げる競泳日本勢の1人である

200m個人メドレーに参戦する高桑健選手の専属コーチ・伊藤秀介さん。

伊藤コーチの奥様のお父様はキーパーファンVol.1に登場していただき、キーパーコーティングユーザーでもある高橋晴邦さん。

高橋さんのおすすめで今回伊藤コーチがダイヤモンドキーパーを初施工。

施工をしている間に競泳の魅力と過酷さ、コーチとしての使命、

そしてロンドン五輪への意気込みを語っていただきました。



紹介者は、伊藤コーチのお義父さまである元レーシングドライバーの高橋晴邦さん。



### 見た目もクルマもいい状態でいたい

僕の妻の父は、元レーシングドライバーの高橋晴邦です。母とともにキーパーコーティングのファンで「雨が降った後もキレイなんだよ」と話を聞いていて、今回ダイヤモンドキーパーを体験できることを楽しみにしていました。クルマはもともと、四駆のような車高の高い見渡せるクルマが好きなんです。今は家族と乗ることが多いのでヴェルファイアに乗っています。初めての新車なので、洗車は自分でしているのですが、コーティングははじめてなんです。

現役を引退して自衛隊体育学校の水泳コーチを務めているから、泳ぐこともトレーニングもやっていないんですけど、見た目はいい状態でいたいと思うんですよ。コーチ仲間にスタイルの良い年上の男性がいるんですけど、ああいう風になりたいなと思いつつ何もしていないんですよ(笑)。だからクルマも見た目よくしておきたいと思うんです。

### 水泳は過酷な「自分との闘い」

水泳は、過酷なスポーツです。年末年始も夏休みもなく、自分の力だけで、ただひたすら泳ぐ。50mの競技だったらたった20秒ぐらい。そのために年間何万時間も泳ぐ。



5年耐久のダイヤモンドキーパーを体験していただきました。「自分ではこんなにキレイにできない!クルマが生まれ変わったようにキレイになりました。想像以上の仕上がります!雨が降るのがとても楽しみです。」と伊藤コーチ。普段ご自分で洗車をされているということでしたのでキーパーパークも差し上げました。

大会も野球の試合のようにたくさんあるわけではないし、テレビにもあまりでません。自分との闘いなんです。僕は27歳まで現役だったんですが、好環境と厳しいトレーニングに耐えられる身体、精神的な部分を高いところに保持できていれば、今は30歳くらいまでは現役でいけると思います。身体はトレーニングをしていけば作ることができますが、いろんな故障箇所や不安材料ができたときに、それに打ち勝つ精神がなければ記録を出すことができません。練習が思うようにいかず、速く泳げる若い選手が出てきたとしても、自分には自分のやり方があるんだ!という強い気持ちが持てなくてはだめなんです。僕は途中で精神的に折れてしまったんです。でもそのとき感じていた気持ちがコーチとして役立つと思っています。

### 精神的にコントロールするのも役割

現在、ロンドン五輪に出場する高桑健の専属コーチをしています。ロンドンまで一緒に行き、練習をギリギリまで行きます。コーチには、自衛隊体育学校に選手として入ったときからなりたいなと思っていました。どんな指導や練習メニューを作ったら選手が育つかに興味がありました。やりがいには記録を出したときの選手たちの笑顔ですね。喜んでいる姿を見るのが何よりうれしい。熱血コーチというよりは、冷静に選手に分かるように指導します。高桑選手とも、いかに良い練習ができるかをじっくり話し合いますよ。選手の感性は非常に繊細なので、言葉を選びますね。いくら調子が悪くても、「今日は調子がいいよ」と声をかければ、良い記録が出るということもあります。選手が良い方向へ向かうように精神的にコントロールすることもコーチの役割ですね。

### すごい発見!めざせメダル獲得

高桑選手は、以前に右の手首を30針縫うケガをしたことがあります。先日、何でもない話をしているときに、リラックスしたときの左右の手の形が違うことに気付き、泳いで

いるときの右手を注意してみたら、泡が出てくるんですね。水泳はいかに抵抗をなくすかがタイムの差になってきますので、これはすごい発見でした!水を切るような感じに右手の角度を改善したら泡が出なくなりました。これだけでも違うんですよ!すごうれしかったですよ!直すべきポイントを発見し、改善ができ、記録を残すことができるのがコーチの醍醐味でもあります。高桑選手を信頼しているというか、彼の力を信じています。きっとメダルを取ってくれるはずですよ。そして一コーチとして高桑選手だけでなく頑張っている競泳選手たちをもっともっとメディアに出て、その頑張りを多くの人たちに見てもらいたい、感動を与えたいと思っています。



伊藤コーチは双子の兄とともに各大会で優秀な成績をおさめ、さまざまなメディアで注目の競泳選手として活躍しました。

伊藤秀介 (いとう・しゅうすけ) 岡山県倉敷市生まれ。200m自由形で日本新記録を出した競泳選手であった母に影響されて水泳をはじめ。中3のときに全国大会で4位になったのをきっかけに、兵庫県市川高校へ水泳留学。高3のときにインターハイで双子の兄が100m、200m自由形で1位、自らは200m、400m自由形で2位になり、水泳界で脚光を浴びる。その後、大学時代に東アジア大会で200m自由形、400mリレー、800mリレーでそれぞれ優勝。アジア大会では100m自由形において兄弟で1、2位を獲得。短水路100m自由形では日本新を樹立した。現在、自衛隊体育学校の競泳コーチを務める。